

# 2010年中国北京国際省エネルギー環境保全展覧会への ブース出展に関する報告

自治体国際化協会 北京事務所

2010年6月12日（土）から15日（火）の4日間にわたり、北京市内にある北京展覧館において開催された「2010年中国北京国際省エネルギー環境保全展覧会」にブース出展し、日本の自治体が有する環境保全に向けたノウハウ、施策についてPRするとともに、地域の企業が有する優れた環境技術についてPR活動を実施しました。

この環境展には約240団体のブース出展があり、当協会は日本貿易振興機構北京センター（JETRO北京センター）やTOTO株式会社などとともに、日本パビリオン内（全8ブース）にブースを構え、来訪者に対して各自治体から提供を受けたパンフレット、ポスターなどを活用したPRを行いました。

大阪府、福岡県、北九州市については、それぞれの上海事務所から職員が参加し、クレアブースの一部を活用する形で、自治体自らが環境施策や地元企業の紹介を行ったほか、福岡県、北九州市からは企業の参加もあり、官民協働によるPRが実現しました。

## 1 出展の目的

中国においては、急速な経済成長に伴い深刻化する環境問題への対応が大きな課題のひとつとなっており、環境・省エネ分野において技術とノウハウを蓄積する日本との同分野における戦略的互恵協力関係の強化が進みつつあります。

日本と中国の地域間交流においても、これまで培ってきた友好交流関係を基盤として、具体的な各種課題に対する課題解決型交流へと深化する中、環境・省エネ分野における交流拡大が広がりをみせております。

のことから、当事務所における初の試みとして、環境展覧会に出展ブースを確保し、自治体が有する環境保全に向けたノウハウおよび地域の企業が有する優れた環境技術についてPRを実施いたしました。

## 2 2010年中国北京国際省エネルギー環境保全展覧会の概要

(1) 期 間：2010年6月12日（土）～15日（火）

※14日までは9:00～17:00、15日は9:00～15:00

※12日から13日までは業界日、14日から15日までは一般公開日

(2) 場 所：北京展覧館

（北京市西城区西直門外大街135号）

(3) 主 催：北京市人民政府、国家発展改革委員会

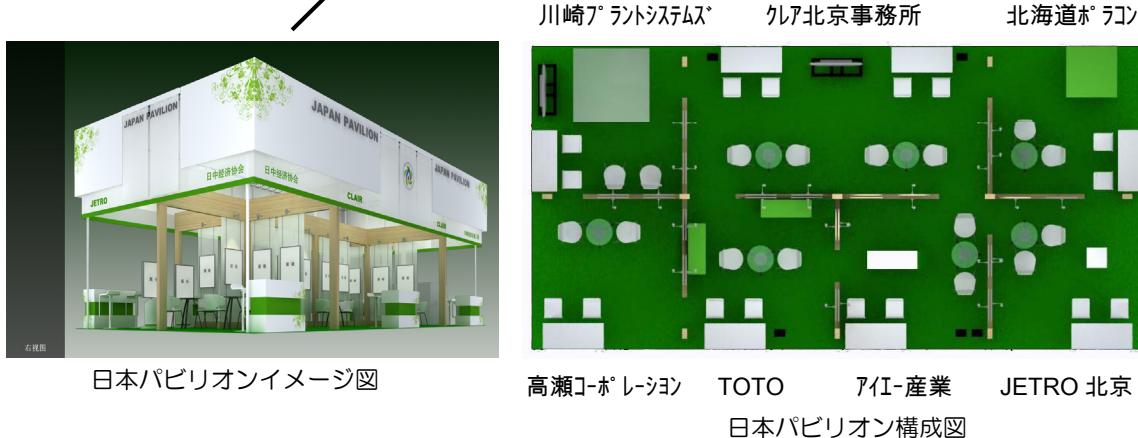
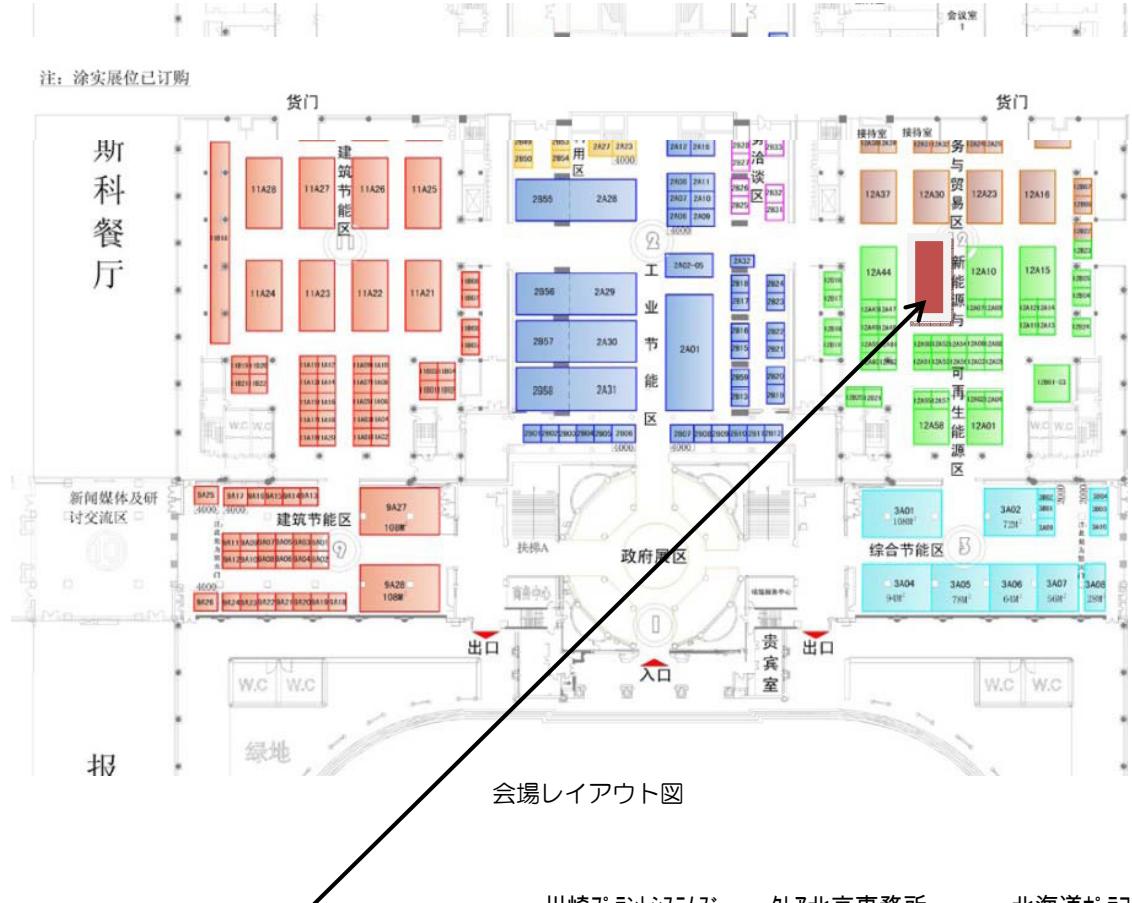
(4) 来場者：約43,000人

（うち業界日：約13,700人）

(5) 出展数：235団体



北京展覧館外観



### 3 出展自治体

2010年3月、当協会各支部あてに「2010年中国北京国際省エネルギー環境保全展览会」への参加意向調査を実施した結果、6自治体がPR資料の提供による参加を行うとともに、3自治体が共同出展することとなりました。さらに、共同出展自治体の内、福岡県と北九州市については、それぞれ1社と2社の地元企業も参加する形での出展となりました。

	①PR資料の提供 参加（当事務所職員によるPR）	②共同出展 (自治体職員によるPR)	参加企業
福島県	○		
川崎市	○		
愛知県	○		

大阪府		○	
福岡県		○	・(株) 正興電機製作所
北九州市		○	・(株) アステック入江 ・(株) 松島機械研究所
長崎県	○		
熊本県	○		
熊本県熊本市	○		

#### 4 PRの実施

##### (1) PR資料の提供参加（当事務所職員によるPR）

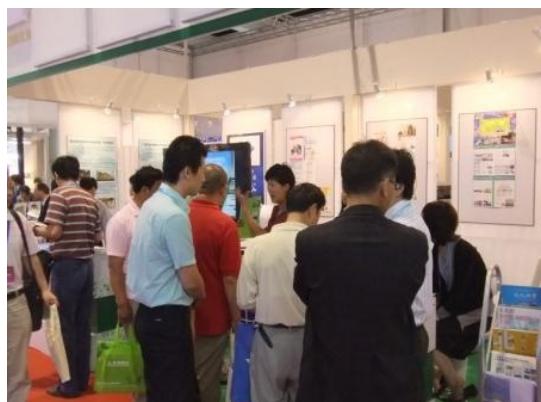
PR資料の提供によるPRを希望された6自治体からは、環境施策にかかる各種資料、地元環境関連企業リスト、地元企業の会社・製品案内などさまざまな資料提供を受けました。クレアブースには開催初日から多くの来訪者があり、資料についての質問などに対応するとともに、適宜資料を配付し、最終日にすべての資料を配付することができました。

今回配付した資料のなかで問い合わせが多かったものは、下水道消臭、水質浄化の製品に対するもので、20件以上の問い合わせがありました。質問の内容は、中国で購入できるのか、投資をしたいなどさまざまで、日本の技術に対する関心の高さを窺うことができました。

また、自治体からの希望を受けて設置した観光パンフレットについても好評でした。



クレアブース



賑わうクレアブース

左机（クレア、大阪府）、右机（福岡県、北九州市）



ブース来訪者に応対する当事務所職員



【資料配付実績】

	資 料	設置数	配付数
福島県	・福島県企業立地ガイド（日文、英文）	240	240
	・福島県新商品生産による新事業分野開拓者認定制度（日文）	160	160
	・うつくしま次世代医療産業集積プロモーション（日文）	50	50
	・写真集「ふくしまの宝」（観光パンフ）（日文）	70	70
川崎市	・川崎国際環境技術展2011（中文）	300	300
	・川崎国際環境技術展2010（中文）	50	50
	・川崎日和（観光パンフ）（中文）	200	200
愛知県	・生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）（日文）	300	300
	・愛知（観光パンフ）（中文）	600	600
長崎県	・環境・エネルギー関連企業紹介パンフ（中文）	300	300
熊本県	・（株）ビッグバイオ（中文）4種類	各300	各300
	・（株）日本リモナイト（中文）3種類	各100	各100
	・ユニバーサル・グリーンテクノ（株）（中文）2種類	100 200	100 200
	・日本九州熊本観光案内（中文）	300	300
熊本市	・日本一の地下水都市熊本ポスター（日文）	6	—

(2) 共同出展（自治体職員によるPR）

大阪府、福岡県、北九州市の3自治体が共同出展いたしました。各自治体からは2名から4名（延べ人数）の職員がブースに立ち、各自治体の環境施策及び企業紹介を実施しました。各自治体のブースにも多く来場者があり、それぞれが用意していた資料についても最終日には全て配付完了となりました。

福岡県からは（株）正興電機製作所の企業参加があり、水質管理装置（生物センサー）の技術について、VTRなどを活用しながらPRしたほか、北九州市からは（株）アステック入江、（株）松島機械研究所の企業参加があり、展示製品についての機能紹介などを通じて企業PRを実施しました。



自治体施策説明の様子：北九州市（写真右奥）



DVD映像を活用したPR（(株)正興電機製作所）

## 5 終わりに

展示会への来場者の中心は環境分野の政府関係者や企業であり、ビジネス交流にかかる情報収集や商談の目的で会場を訪れて来る方が大半を占めました。このような来場者に対してPRを実施できた今回の展覧会は、自治体や地域の企業が有する環境保全に向けたノウハウや技術を効果的に紹介する貴重な機会であったと考えています。

また、共同出展いただいた自治体からは、「北京で自治体PRを行う得難い機会であった」、「また実施することがあれば声をかけて欲しい」とのコメントもいただき、今回の出展に関して、一定の評価をいただけたものと感じているところです。

今後も、中国国内における各自治体の情報発信に努めていきたいと考えています。